

(問題1)

当工場では材料として原料Xおよび消耗品Yを使用している。原料Xと消耗品Yの月初有高はそれぞれ73,000円、8,000円であった。期中の取引は次の通りであった。

11月1日 原料Xを550,000円仕入れた。

11月5日 製造指図書#1101に従い、原料Xを560,000円払いだした。

11月7日 消耗品Yを60,000円仕入れた。

消耗品Yの月末有高は9,000円であった(消耗品Yは棚卸計算法を用いる)。

製造間接費は直接作業時間を配賦基準として各製造指図書に予定配賦している。製造間接費の年間予算額は10,080,000円、年間の正常直接作業時間は6,000時間である。当月の直接作業時間は500時間であった。

各勘定の( )を埋めよ。

材 料	
月初有高 ( )	直接材料費 ( )
当月仕入高 ( )	間接材料費 ( )
	月末有高 ( )

製 造 間 接 費	
間接材料費 ( )	予定配賦額 ( )
間接労務費 486,000	配賦差異 ( )
間接経費 325,000	

仕 掛 品	
月初有高 250,000	当月完成品 ( )
直接材料費 ( )	月末有高 280,000
直接労務費 130,000	
製造間接費 840,000	

損益計算書

I 売上高		2,500,000
II 売上原価		
月初製品棚卸高	300,000	
当月製品製造原価	( )	
月末製品有高	450,000	
原価差異	( )	( )
売上総利益		( )

(解答)

材 料			
月初有高	81,000	直接材料費	560,000
当月仕入高	610,000	間接材料費	59,000
		月末有高	72,000

製 造 間 接 費			
間接材料費	59,000	予定配賦額	840,000
間接労務費	486,000	配賦差異	30,000
間接経費	325,000		

仕 掛 品			
月初有高	250,000	当月完成品	1,500,000
直接材料費	560,000	月末有高	280,000
直接労務費	130,000		
製造間接費	840,000		

#### 損益計算書

I 売上高		2,500,000
II 売上原価		
月初製品棚卸高	300,000	
当月製品製造原価	(1,500,000)	
月末製品有高	450,000	
原価差異	( 30,000)	(1,380,000)
売上総利益		1,120,000